

2014年度

事業報告書（概要版）

自 2014年 4月 1日

至 2015年 3月31日

一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構

はじめに

2014年は、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減があったものの、企業業績や雇用環境が改善するなど、日本経済、関西経済とも緩やかに回復した1年となった。

こうした中、国際観光に関しては、2013年に初めて1千万人を超えた訪日外国人旅客数が、2014年も大幅に増加し1341万3600人となった。関西国際空港においても国際線外国人旅客が大幅に伸び、過去最高の630万1029人を記録している。文化振興については、「関西文化の日」の参加施設数・利用者数がともに過去最多となった。「関西から日本を元気にする」という当法人の継続的な活動が、こうした成果に貢献できたと考える。

本事業報告は、当法人が実施した2014年度の取り組みについて、主要な結果ならびにその成果を報告するものである。

I 管理運営活動

1 理事会・評議員会等

(1) 理事会

・第1回理事会

2014年6月6日（金） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：2013年度事業報告書（案）の承認の件

第2号議案：2013年度計算書類等（案）の承認の件

第3号議案：公益目的支出計画実施報告書（案）の承認の件

第4号議案：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の承認の件

・第2回理事会

2015年3月26日（木） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：2015年度事業計画書（案）の承認の件

第2号議案：2015年度収支予算書（案）の承認の件

(2) 評議員会

・第1回評議員会

2014年6月25日（水） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：評議員の退任及び選任の承認の件（案）

第2号議案：理事及び監事の選任の件（案）

第3号議案：2013年度計算書類等（案）の承認の件

(3) 運営会議

・第1回 2014年5月13日（火） 於 当法人会議室

・第2回 2015年2月18日（水） 於 当法人会議室

2 会員関係

関西地域の益々の振興に向け、当法人の一層の発展を図るため、財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構（特例民法法人）及び関西広域機構において協力いただいた法人を始め、実施事業・管理運営で関係のある企業・団体から支援を頂戴できるよう、当法人の会員として登録いただいている。会員企業・団体に対しては、当法人の2014年度事業計画書・収支予算書や、2013年度事業報告書・計算書類等を送付するとともに、説明会、講演会、視察会など主催行事の案内も行い、事業活動についての情報提供を実施した。

当年度も、実施事業・運営管理において密接な関係を有する企業・団体に対し会員登録をお願いし、新たに4箇所から会員登録をいただいた。

II 関西地域に係る地域振興事業

1 国際観光事業

当法人の国際観光事業では、海外での観光プロモーション、海外の旅行業やメディアの関係者を関西各地へ招聘する視察旅行（ファムトリップ）などの商品造成促進と、インバウンド情報の収集・分析・発信等を行うマーケティング活動に取り組んでいる。当年度は、海外プロモーションを8回実施し、ファムトリップは過去最多の44回催行した。このうち、旅行代理店等を招聘するファムトリップ（エージェントファム）では、1回あたり平均で3.6府県を視察し、複数の府県市を訪問・宿泊する連泊の旅行コースとして関西の魅力を提案した。

当年度はまた、関西経済連合会（関経連）の「広域観光研究会」において策定された、「はなやか関西シンボルマーク」をデザインしたステッカーやスイングポップ等のPRツールを作成し、海外旅行博や関西各地のファムトリップで大いに活用した。また、同研究会がとりまとめた「関西広域観光戦略」の目標を達成する取り組みのうち、海外のメディアを活用した情報発信を、関経連と共同で実施し、タイと台湾で関西をPRするテレビ番組が放送された。

さらに、2021年に関西で開催される「ワールドマスターズゲームズ」（WMG）については、関西を世界に売り込み、関西を活性化する絶好の機会と捉え、海外プロモーションや関西各地でのファムトリップにおいて、WMG組織委員会より提供された公式パンフレット（英語）を配布するなど、告知・PRに取り組んだ。

ファムトリップ等によって造成された旅行商品は合計で157本、送客数は約4,000人となった。なお、以下の報告では、事業名にVJと記載のある取り組みは、観光庁のビジット・ジャパン地方連携事業の補助金を活用している。

2 文化振興事業

「関西文化の日」ならびに「関西元気文化圏」の2事業は、関西圏域の風格を高めその魅力を圏域内外に広めるため、個性豊かで質の高い文化の発信に取り組んできており、活発に文化創造活動が行われ文化に身近に触れられる風土をさらに育む環境づくりを促進している。

関西の官民が連携する文化力発信事業として定着したこれらの事業について、当年度も、一層のPR強化および実施内容の更なる拡充を図りながら引き続き実施した。

3 情報発信事業

情報発信事業では、ニュースやイベント等のタイムリーな情報をインターネット上に発信するポータルサイト Kansai Window と、有力メディアの記事を通じたパブリシティ活動として、首都圏駐在の外国特派員を関西へ招聘する取材旅行（外国特派員プレスツアー）に取り組んでいる。当年度も、Kansai Window ならびに外国特派員プレスツアーに着実に取り組み、関西の魅力やポテンシャル等を、力強く国内外へ発信した。

Ⅲ 大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業

大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業（ベイエリア事業）においては、前身の財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構以来 20 年の歴史を有する調査研究、一般の市民とふれあう活動である「なぎさ海道」推進、ならびにこれら 2 事業の成果 P R と情報開示を行う広報活動について、各々の取り組みをより一層強化して実施した。

以 上